

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	LEIF旭川		公表日		R8年 3月 31日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1		座って遊んでいる子たちと立って遊んでいる人がいるとスペースが足りないのかなと感じる
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	各々が周りを見て人が必要な場所に移動したり、個別対応していくことができていると感じる	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	事業所に入り、手を洗いに行くまでの導線は良いと思う。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1		棚の下に埃が多い。掃除機があまり吸えない。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	事業所内では、事務所や相談室を利用しながら、子どものクールダウンの場として提供できている クールダウンの際に別室を利用することができている。	クールダウン、カムダウンができるよりよい空間を作れたらと思う。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	1 on1、日々の申し送りや会議の他に、事務所での雑談の中でも、職員間で情報・意見交換を気軽に行える環境なのが良いと感じる。 それぞれがその場で話をして改善していくことがある。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1	会議等で研修の機会はある。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	個別支援会議、モニタリング等で一人一人の様子を確認したり対応を考えている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0		
	15	こどもの週別行動の状況を、標準化されたフォーマルを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	毎週の会議の中でイベントの確認、立案などを行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	毎日のサッカー療育以外にも、土曜日・休日・長期休暇には、さまざまなイベントを行い、子どもたちに多岐に渡る体験の場を設定している。 イベントに+aで何か付け足したり、子どもたちが飽きない様にしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	個別支援会議にて内容、役割の確認をしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	次の日に朝の申し送りで前日の振り返り・本日の留意点を共有している。 その日にはしていないが次の日の申し送り	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	申し送りの際にモニタリングを行い、業務時間の確保をしつつ行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	6	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	無理して支援員側の意見を押し付けることはせず、基本的に子どもが自分で選ぶ・決める支援を行えていると思う。 本人にデイサービスで頑張りたいことを聞き、定期的に聞き取り・評価をしながら、目標の再設定を行っている。 工作や調理イベントで児童が自分で素材などを自分で選択する機会を作っている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	保護者より学校や病院に提出する意見書を求められた際には、デイサービスでの様子や支援内容についてまとめ、書類の作成を行っている。その他連携を取る体制を整えている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	1	年間計画・行事予定等の交換の認識がないが、学校のサイトから情報を得ている。 送迎時にその日あったことを聞いたり、様子を確かめている。	こちらから学校へののコンタクトはあるが、学校から放デイへのコンタクトはあまりない。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	0	6		なかなか情報共有を図ることができていない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	2		保護者より情報の提供を求められた場合には対応することが可能であるが、現状移行の際の情報提供を正式に行ったことはな
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	2		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	6		地域の子どもたちとはかかる機会はまだまだあまりない。一度リーフラス主催のおにごっこ、かくれんぼイベントで地域の子どもた
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	3	協議会主催の研修等に参加している。	

	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	チャットにその日の子どもの様子をのせ伝え漏れを極力ない様になっている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	保護者懇談会を開催した。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	LINE、電話で相談が来た時に職員で相談し、どのような対応をするか考え返答している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5	1	保護者懇談会は1度のみ行った。今後も実施したい。 サッカー大会では保護者同士、子ども同士の交流があった。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	出来るだけ職員で話し合ってから、対応を考え返答するようにしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5		地域の施設におもむくことはあるが、招待したことはない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	2		実際の状況を想定したよりよい避難訓練の実施が必要。 あまり実施はできていない。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	2	保護者とも連絡を取り、情報共有している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	調理イベントの前には、必ず使用する材料を保護者へ共有し、アレルギーの確認をしている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	申し送りの時などにヒヤリハットだったことを確認し、対策を考えている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	1	事業所内研修を行っている。	

	54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0		
--	---	---	---	--	--